

## 第2学年道徳学習指導略案

令和3年1月16日(土) 1, 2校時

授業者 1組 五十嵐 真澄

2組 山崎 克典

3組 岸野 航太

4組 谷合 初美

- 1 主題名 「いのちのつながり」 D 生命の尊さ
- 2 資料名 「ゆきひょうのライナ」(『新しいどうとく』東京書籍)
- 3 ねらい 生きることのすばらしさを知り、生命を大切にしようとする態度を育てる。
- 4 授業の流れ

	学習活動 【◎中心発問 ○主な発問 ・児童の反応】	□留意点 ■評価【評価方法】
導入	(1) 自分の一番大切なものについて話し合う。 ○みなさんが一番大切なものは何ですか。 ・ゲーム ・命 ・お金 ・友達 ・家族	□ねらいとする価値への方向付けをするために命は1つしかないことを押さえてから展開に入る。
展開	(2) 「ゆきひょうのライナ」を読み、生きることの素晴らしさや命の大切さについて考える。 ○さぎが飛んで行った空を眺めながらライナはどんな気持ちでしたか。 ・魚っておいしいのかな。 ・魚がかawaiiそう。 ・どうして魚を捕ってしまうのかな。  ○「えものをとらなければ・・・」ときつねに言われてライナはどんな気持ちになりましたか。 ・子うさぎがかawaiiそう。 ・わたしにはできない。 ・ごめんなさい。 ・自分も食べないといけないけど・・・。  ◎みみずくのおじいさんの言葉を聞いてライナはどんなことを考えましたか。 ・わたしの命もいつかはなくなる。 ・わたしも食べないと生きていけない。 ・なくなった命の分も生きていこう。	□ゆきひょうについて説明、ライナのことを紹介した後、場面絵を活用して教材を提示する。 □初めての探検であるライナの興味津々な視点で考えられるようにする。  □周りの人に支えられていることと元気に生きようとする「生きる力」があることの2つについて押さえる。 □ライナの言葉「でも、・・・。」どんなことを言おうとしたのか、ライナの表情の変化を捉えてから発問する。  □みみずくの言葉を再度読み聞かせたり、視覚的に提示してから発問する。  ■生きることの素晴らしさを知り、命を大切にすることについて考えている。 【発言・ワークシート】
終末	(3) いのちの大切さやこれからどのように生きていくのかについて考える。 ○命が大切だと感じる時はどんなときですか。 また、これからどのように命を大切に生きていきますか。 ・誰かがなくなったとき ・食事をしているとき ・怪我や事故になりそうだったとき ・生き物の命の分まで生きるために	□自分の生活に置き換えて考えさせる。